

| | |
|------------------|---------|
| 第 84 回がん対策推進協議会 | 参考資料 10 |
| 令和 4 年 10 月 27 日 | |

要望書

令和 4 年 9 月 22 日

厚生労働省健康局がん・疾病対策課御中

一般社団法人日本サイコオンコロジー学会
代表理事 吉内 一浩

がん対策推進基本計画の推進を鑑み、日本サイコオンコロジー学会としましても、学会の専門性を活かし、よりよいがん医療を国民に提供していく上で実践すべき医療、構築すべき医療体制について検討を重ねて参りました。

つきまして、今後のがん患者・家族の精神心理的ケアの均てん化ならびに質の向上のために、次期がん対策推進基本計画の策定に関しまして、以下のような要望をさせていただきたく存じます。

ご高配をいただきましたら幸いです。

1. がん医療に携わる公認心理師等の配置および教育研修の場の設置「がん診療連携拠点病院等の整備について」（令和 4 年 8 月 1 日付け健発 0801 第 16 号厚生労働省健康局長通知）において、緩和ケアチームに協力する公認心理師等の医療心理に携わる専門的な知識及び技能を有する者の配置が「望ましい」と記載されました。がん診療連携拠点病院 405 施設のうち 317 施設にすでに配置されており（令和元年または 2 年に提出された現況報告書および新規指定・指定更新推薦書）、公認心理師の合格者数が年間 16,084 人（令和 4 年）であることから、すべてのがん診療連携拠点病院の緩和ケアチームへの公認心理師等の配置を要望いたします。がん医療に即した公認心理師等の活動を推進し、心理社会的支援の質を高めるためにも、国と開催実績のある関係学会との連携による公認心理師等に対する技術研修の場の設置を要望いたします。がん患者、家族から、特に気持ちへのつらさに対する期待が大きいことから、国と関係学会との連携による公認心理師等に対する技術研修会の効果検証研究および心理職によるがん患者、家族への支援のガイドライン作成を希望します。
2. 緩和ケアチームの精神心理的ケアに関する知識・技術の向上のための研修の場の設置「経済財政運営と改革の基本方針 2022」にも掲げられましたとおり、がん対策の推進にはがん専門医療人材の養成は緊急の課題です。特に、「がん診療連携拠点病院等の整備について」を踏まえ、精神心理的ケアの均てん化を進めるためにも要望いたします。がん患者、家族からみた緩和ケア研修会の効果の実感に乏しいことから、研修会の効果検証研究、ガイドライン作成を希望します。その際に、現在、厚生労働科学研究費補助

金によって、本学会が中心となって開発中のがん患者の精神心理的な支援に関する診療ガイドラインの知見を利用していただきたいと存じます。

3. がん診療連携拠点病院におけるピア・サポーターの活用の推進

「がん診療連携拠点病院等の整備について」(令和4年8月1日付け健発0801第16号厚生労働省健康局長通知)において記載されましたがん診療連携拠点病院等でのピア・サポーターの活用の推進のために、ピア・サポーターの養成ならびに支援する医療従事者(相談支援センター相談員)の研修、計画・連携を調整する役割の都道府県に対する支援の推進を要望いたします。特に、継続的な活動を行う上で、マネジメントを行う都道府県の役割は大きい一方、2-3年で担当者が異動する状況があります。継続して都道府県を支援する体制を構築することが重要です。合わせて、普及が困難なピア・サポートの提供体制の実装科学に関する研究を希望します。

4. 医療機関内での自殺対策の推進

身体疾患を有する入院患者の自殺のうち、がんは48.6%を占めており(Inoue et al., *Psychiatry Res.* 2017)、がん医療において自殺対策は重要な課題です。特に、診断告知後1か月以内の自殺率は一般人口の4.4倍と非常に高いことがわが国でも確認されています(Kurisu et al., *Cancer Med.* 2022)。自殺の危険因子として、がんの進展度(Kurisu et al., *Cancer Med.* 2022)、うつ病をはじめとする気持ちのつらさ(Hockey et al., *Soc Psychiatry Psychiatr Epidemiol.* 2022)が挙げられます。過去20年でがん患者の自殺率全体が緩やかに増加している米国では、精神心理的ケアや緩和ケアが推進された時期に、ハイリスク者(高齢、男性、肺・前立腺・頭頸部がん)の自殺率が減少傾向にあることの示唆もあります(Han et al., *J Natl Cancer Inst.* 2021)。「診断時からの緩和ケア」を推進するうえでも、医療安全部、緩和ケアチームならびに相談支援センターにおける精神心理的ケアの提供に関する技術の向上を図ることを目的とした研修機会の確保等を要望いたします。さらに、研修会では、「気持ちのつらさと支障の寒暖計」による定期的なスクリーニング評価を推奨し、自殺リスクの高い人を早期に発見し、対応を行うことも盛り込み、また、その効果検証の研究を要望します。

5. 遺族(がんで大切な人を亡くした方を含む)へのケアの推進

地域での緩和ケアを推進し、がんと共生を実現する上で、医療の提供を終えた後にも家族(パートナー、恋人、親友等を含む)や遺族(がんで大切な人を亡くした方を含む)への支援が継続されることが重要です。がん診療連携拠点病院が地域での緩和ケアについて検討する課題として、地域での遺族等への支援体制を把握し、緩和ケアチームと

地域の精神保健の連携についても検討することを要望いたします。

6. 障害者におけるがん予防・医療格差への対策の推進

障害者も取り残されないがん対策が必要です。精神障害者は、がんの検診および治療に格差が生じていることがわが国でも確認されています。具体的には、重度の精神障害者は一般人口と比較して、がん検診受診率が約 1/2 であり (Fujiwara et al., *Psychiatry Clin Neurosci.* 2017)、より進行した状態で入院に至り、侵襲的治療を受けた者はより少ないことが示唆されています (Ishikawa et al., *Br J Psychiatry.* 2016)。これらの格差を縮小するためには、その要因の解明、格差を測定・モニタリングする手法の開発、格差を縮小するための介入法の研究開発とその実装が必要です。例えば、かかりつけ精神科医療機関でがん検診を勧奨することで、重度精神障害者のがん検診受診率が向上することが示唆されています (Fujiwara et al., *Acta Psychiatr Scand.* 2021)。研究の推進と同時に、その成果を実装するために、がん医療と精神保健医療の連携強化のための方策を要望します。

7. 文献

- Fujiwara M, Inagaki M, Nakaya N, et al. Cancer screening participation in schizophrenic outpatients and the influence of their functional disability on the screening rate: A cross-sectional study in Japan. *Psychiatry Clin Neurosci* 2017;71:813-825.
- Fujiwara M, Yamada Y, Shimazu T, et al. Encouraging participation in colorectal cancer screening for people with schizophrenia: A randomized controlled trial. *Acta Psychiatr Scand* 2021;144:318-328.
- Han X, Hu X, Zhao J, et al., Trends of Cancer-Related Suicide in the United States: 1999-2018. *J Natl Cancer Inst* 2021;113:1258-1262.
- Hockey M, Rocks T, Ruusunen A, et al. Psychological distress as a risk factor for all-cause, chronic disease- and suicide-specific mortality: a prospective analysis using data from the National Health Interview Survey. *Soc Psychiatry Psychiatr Epidemiol* 2022;57:541-552.
- Inoue K, Kawanishi C, Otsuka K, et al. A large-scale survey of inpatient suicides: Comparison between medical and psychiatric settings. *Psychiatry Res* 2017;250: 155-158.
- Ishikawa H, Yasunaga H, Matsui H, et al. Differences in cancer stage, treatment and in-hospital mortality between patients with and without schizophrenia: retrospective matched-pair cohort study. *Br J Psychiatry* 2016;208:239-44.
- Kurisu K, Fujimori M, Harashima S, et al. Suicide, other externally caused injuries,

and cardiovascular disease within 2 years after cancer diagnosis: A nationwide population-based study in Japan (J-SUPPORT 1902). *Cancer Med* (in press)

以上